九州・沖縄
1

福岡県うきは市
姫治子ども交流推進協議会

―

問合せ先
窓口名：姫治子ども交流推進協議会
住所：福岡県うきは市吉井新治 316
TEL：0943-75-4975　FAX：0943-75-3114
E-mail：UC000531@city.ukiha.lg.jp

アクセス
最寄りの都市：福岡市
集合場所：うきは市立　姫治小学校
車の場合：90 分
鉄道の場合：110 分

受入概要

過疎化が進み子ども達の数も少なくなりつつある姫治地区において、保護者達は、自然豊かな地域で子ども達が成長することのすばらしさを何とか伝えたいと山村留学を進めてきた。この地域のよさを知ってもらう取り組みのひとつとして、多くの子ども達に自然体験をしてもらうためのプログラムを開発した。地域の中に多くの素材があり、それを生かしたすばらしい体験を子ども達に与えることができると考え、以下の方針のもと取組を進めている。

① 地域のつながりを強化し、地域から市全体への取組みになるよう努める。
② 各体験プランの充実と農山漁村体験の質の向上に努める。
③ 体験プログラムの数を増やす等、受け入れ体制の強化に努める。
④ 体験情報を積極的に発信すると共に、他地域の体験情報の収集に努める。
⑤ 体験プログラムの担い手を育てる研修会等の充実に努める。
⑥ 都会と地域の環境の違いを共有し、交流や親睦を深め、互いのよさを認めあえるような関係を築く。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

うきは市は、福岡県の南東部に位置し、北は朝倉市、西は久留米市、南は八女郡星野村、東は大分県日田市と接している。耳納連山を源流とする巨瀬川、小塩川、隈上川が市内部を流れ、筑後川に注ぎ込んでいる。本市は、筑後川の南に広がる平坦部、平坦部と山間部との間にある山麓部、耳納連山に属する山間部に区分される。平坦部は肥沃な水田地帯が広がり、山麓部には果樹地帯が形成され、山間部は棚田などを含む森林となっている。名水百選「清水湧水」、水源の森百選「調音の滝」、棚田百選「つづら棚田」、疎水百選「五庄屋遺跡大石堰」等多くの自然資源がある。

歴史・文化的な特色

うきは市は、平成 17 年 3 月に吉井町、浮羽町が合併してできた市である。その中で吉井町は、白壁の町として知られ、2 月終わりから 4 月半ばまで「おひなさまめぐり」、その後「小さな美術館めぐり」が行われている。また、姫治地区を始め山間部では、古民家めぐりや森林セラピーなどが行われている。

農林水産業の特色

【農業】：果樹、野菜、米が主な農業です。特に果樹は、もも、梨、ぶどう、柿など一年を通じて栽培され「フルーツの里」として知られている。
【林業】：森林面積が約 59ｋ㎡で、市の約半分の面積を占めており、木工業が盛んな地域である。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家以外の民宿	民間宿泊施設
軒数	14	2	8
最大宿泊可能人数	50	20	100
料金	6000 円～7000 円	3000 円～6300 円	6800 円～8500 円

おすすめ体験学習プログラム

野菜作りと収穫（農業体験）
【期間】
6 月～10 月まで
【内容】
農家を営んでいる方の直接指導による畑の土づくり、野菜の種まき・季節の野菜収穫を体験する。

田植え、イモ苗植え（農業体験）
【期間】
6 月
【内容】
学校に登録されている、地域のおじいさんやおばあさん達のボランティア団体による田植えとイモの苗植え体験。稲の育ち方、農業の楽しさ、大変さ、昔の農作業を聞きながら体験を行う。

イモ堀り（農業体験）
【期間】
10 月
【内容】
学校に登録されている、地域のおじいさんやおばあさん達の指導による芋掘り体験、焼き芋、芋料理体験。芋の美味しい見分け方、芋料理についての話を聞く。

稲刈り（農業体験）
【期間】
10 月
【内容】
学校に登録されている、地域のおじいさんやおばあさん達の指導による稲刈り体験、掛け干し体験、新米試食を行う。

田植え体験、稲刈り体験の場となる棚田

竹細工（その他）
【期間】
7 月～8 月
【内容】
地域で活動してあるボランティアの方の指導による竹を使ったおもちゃづくり、そうめん流し体験。竹についての話、昔のおもちゃの話を聞きながら体験する。

椎茸を作ろう（その他）
【期間】
10 月
【内容】
椎茸の菌うちと木組みを体験し、収穫期に椎茸を送ってもらう。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	棚田で暮らす人々と自然体験プラン	実施時期	7 月下旬～8 月中旬まで
ねらい	児童が、姫治地域の特色ある自然・農林業を体感し、チャレンジするとともに、農林漁家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	現地移動	
	午後	入村式	オリエンテーション・地域の概要
	宿泊	センター（民宿）、ＪＡ宿泊施設	—
2 日目	午前	地域探索	長岩城～棚田めぐり
	午後	地域探索、受入民家との対面	古民家めぐり・川遊び
	宿泊	民泊	—
3 日目	午前	農業体験	秋野菜の種まき
	午後	収穫体験	夏野菜の収穫～夕食づくり
	宿泊	民泊	—
4 日目	午前	昔の生活体験	竹細工、そうめん流し
	午後	自然体験	竹楽器づくり、沢体験
	宿泊	センター（民宿）、JA 宿泊施設	—
5 日目	午前	お別れ交流会・閉村式	ゲームや記念写真

九州・沖縄
2

福岡県朝倉市
朝倉グリーンツーリズム協議会

http://www.amagiasakura.net

問合せ先
窓口名：朝倉グリーンツーリズム協議会
住所：福岡県朝倉市甘木 1320
TEL：0946-24-6758　FAX：0946-24-9015
E-mail：aakankou@apricot.ocn.ne.jp

アクセス
最寄りの都市：福岡市
集合場所：三連水車の里あさくら　駐車場
車の場合：50 分
鉄道の場合：70 分

受入概要

朝倉地域の資源を活かした“学習効果のあるプログラム”と“安全・安心な受入”を提供することを方針として取り組むこととし、それらの実現のために、地域内の農林漁家や体験指導者を対象に、人材育成を実施し、個々の児童に対してきめ細やかな配慮と家庭的な交流の提供を進めている。この地方は、自然が豊かであると共に歴史遺跡も数多く存在し、体験型学習を実施するには申し分ない地域である。また、九州で最大の特攻隊基地があった太刀洗飛行場跡には平和記念館があり、平和教育もできる環境が整っている。その他、九州国立博物館や大宰府天満宮にも近く、文化教育ができることも特徴である。

交通の便もよく、九州の玄関口である博多駅や福岡空港から一時間以内と近く、原鶴温泉を始めとしていろんな温泉があり、九州最大の筑後川ではカヌー等の体験や鵜飼いも楽しむことができる。このような観光資源を受入先の方々が勉強会を通して習得し、地域を訪れる児童に対して紹介している。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

朝倉市は、福岡県のほぼ中央部に位置しており、市内を東西へと貫く国道３８６号線から南側には平野部、北側には古処山や馬見山をはじめとする 800～1000 ㍍級の山々が連なっている。市域南部には筑後川が流れ、河川沿いを中心に肥沃かつ平坦な農地を形成している。総面積は 246.73K ㎡で、福岡県の面積の約５％に相当する。地目別に見ると、山林（54.7%）が最も多く、次に田（15.4%）、畑（8.3%）と続き、宅地は 6.6%となっている。山林や農地は経済的な資源であるとともに、水源かん養や温室効果ガスの吸収、水害防止などの多面的機能を持っており、これらの資源は朝倉市を形成する大きな特徴の一つであると言える。

また、大分自動車道については、甘木、朝倉、杷木と３ヵ所のインターチェンジを所有しており、福岡都市圏から約１時間のところに位置している。

歴史・文化的な特色

朝倉市は、名所旧跡などの多彩な歴史・文化資源があり、特に秋月地区は、旧城下町全体が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、現在も残る城跡や当時の街並みなど「筑前の小京都」として観光客に親しまれている。また、三連水車は、２００年以上の歴史を誇る国指定の史跡で、日本最古にして最大の自動回転式重連揚水水車である。

一方、自然の中にある身近な草花を用いて染め上げる草木染め、秋月黒田藩の奨励産業として発展した秋月和紙、熟練の職人による竹工芸などの伝統工芸も今に伝えられており、さらには、安長寺の「甘木バタバタ市」や全国でも例をみない祭である阿蘇神社の「泥打ち祭」、大山祇神社の「おしろい祭り」などの行事・奇祭が継承されている。

農林水産業の特色

筑後川に沿って肥沃で平坦な田園地帯が形成されており、米麦といった水田農業や万能ねぎ等の施設園芸が盛んに行われている。さらに、その東には山間丘陵が広がり、柿、梨、ブドウ、桃などの果樹の生産が盛んに行われている。

また、県内２位の耕作面積を所有しており、果樹では柿、梨が県内１位、桃が県内２位の収穫量を誇っている《2005 年農林業センサス》。フルーツ狩りなどの体験型観光や地元で採れる新鮮な食材を使った直売所など、食と農が楽しめる資源を数多く有している。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	農林漁家以外の民宿	民間宿泊施設	公設の宿泊施設
軒数	66	2	15	15	4
最大宿泊可能人数	250	10	50	500	500
料金	6000 円～7000 円	6560 円～	6000 円～7000 円	5000 円～25000 円	1500 円～7000 円

おすすめ体験学習プログラム

田植え体験と稲刈り体験（農業体験）
【期間】
5月下旬 ～ 6月上旬まで、9月下旬 ～ 10月上旬まで
【内容】
農業の基幹である稲作を学ぶために、苗作りから手植えの要領を体感し、昔の生産者の苦労の一端を学ぶ機会にする。

野菜収穫体験（農業体験）
【期間】
5月下旬 ～ 12月中旬まで
【内容】
野菜(里芋、米、さつま芋、白菜、大根、ジャガイモ、玉葱、唐辛子、牛蒡、茄子、生姜、落花生)の収穫を、その時々で体験する。

黒川地域の竹体験と蛍観察（自然・環境体験）
【期間】
4月下旬 ～ 12月中旬まで
【内容】
黒川の地域に生えてる真竹を利用してお箸を作ったり、竹飯炊きを体験するとともに、蛍の季節には乱舞する蛍を観察する。

泥んこ運動会（農業体験）
【期間】
6月中旬
【内容】
田植え前の水田で、泥んこになって運動会を行う。農村でも子どもたちが土に触れる機会が少なくなっていることから、水田で遊び、楽しみながら土に触れる機会を提供する。

稲刈り体験の様子

野菜収獲体験の様子

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	朝倉地域の農山漁村交流・体感プログラム	実施時期	5月上旬 ～ 5月下旬まで 10月上旬 ～ 10月下旬まで
ねらい	手付かずの自然が多く残る地域で、農業体験や民泊体験を通して、集団生活の在り方や農業の重要性を学ぶとともに人の温かさややさしさを感じ取り、同時に平和教育や文化・歴史体験を行い、自己を発展させる能力を養う。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地移動	—
	午後	入村式（地域に関する情報交換等）	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換（事前学習に基づく、児童からの質問に答える。）
	宿泊	公的宿泊施設「たかき清流館」	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	古代の遺構や住居を見学、古代体験	・国史跡の平塚川添遺跡公園で、説明員から遺構や遺物などの説明を聞き、見学する。 ・火起こしや勾玉つくりを通して、古代を体験する。
	午後	農林漁家の生活体験　（班別活動）	・対面式：各農林漁家泊先との対面し、自己紹介をする。 ・各農林漁家泊先に任せて、農林漁家の生活を体験する。
	宿泊	農林漁家民宿	夕食後、午後の生活体験の感想を語り合う
3日目	午前	田植え又は稲刈り体験（時期外は里山散策とネイチャーゲーム）	高木地域の稲作の解説と参加全児童で田植え又は稲刈り体験を行う（天候不良の場合、屋内メニューを提供）
	午後	農林漁家の生活体験（班別活動）	夕食の食材の調達、農林漁家との夕食づくり体験
	宿泊	農林漁家民宿	農林漁家泊のご家庭とお別れ会を兼ねた夕食
4日目	午前	農林漁家とのお別れ	朝食・片付け・清掃活動・農林漁家への御礼の方法の検討
	午後	宿泊体験活動のまとめ	・班別に、農林漁家泊での学習の成果の取りまとめを行う。 ・保護者宛の宿泊体験の感想を手紙にする。
	宿泊	原鶴温泉旅館	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
5日目	午前	太刀洗平和記念館での平和教育	・戦争の悲惨さを基に平和の大切さを学ぶ ・児童による平和についての討議を行う
	午後	学校まで移動	—

九州・沖縄
3

佐賀県唐津市
唐津・玄海体験型旅行受入推進協議会

http://www.yokabai-tabiclub.jp/

問合せ先
窓口名：社団法人　唐津観光協会
住所：佐賀県唐津市平野町 1611 番地１ＴＭビル２階
TEL：0955-74-3611　FAX：0955-74-3612
E-mail：yokabai@karatsu-kankou.jp

アクセス
最寄りの都市：福岡市
集合場所：ふるさと会館「アルピノ」
車の場合：60 分
鉄道の場合：75 分

受入概要

唐津・玄海体験型旅行受入推進協議会は、唐津市及び玄海町地区において体験型旅行の受入を促進することで、域内全産業の活性化、交流人口の増大を図ることを目的に設立されており、体験プログラム・民泊の受入実施に必要な営業、連絡調整、カリキュラムの作成、コーディネートなどの役割を担っている。

また、唐津・玄海が持つ海、山、川などの豊富な自然や、古から伝わる大陸文化、町人文化などを唐津・玄海での宿泊体験を通してまるごと自分自身で感じてもらうことをコンセプトとしている。このため、安全・安心面以外のことにはできるだけ手を加えずに、ありのままを味わっていただけるようなプログラムを提供できるように研修会を行っている。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

唐津市は、九州北部、佐賀県の北西部に位置する、風光明媚な人口約１３万人の観光都市である。平成の合併により、旧唐津市と旧東松浦郡内の１市６町２村が合併し、現在の唐津市となった。玄海町は、唐津市に隣接する農林水産業の盛んな人口約７千人の町である。

唐津市の北部は玄海国定公園に位置し、玄界灘を眼前に日本三大松原のひとつ「虹の松原」が延々５ｋｍと白砂青松の広がりを見せている。また市内の中心部には１級河川「松浦川」が流れ、山間部には蕨野、大浦などの棚田や観音の滝、見帰りの滝といった清流が人々の生活を潤している。また、いたるところに四季折々の草花が咲き、都会とは異なる自然の風景が広がっている。

歴史・文化的な特色

唐津市は日本最初の稲作の伝来地であり、古より大陸との交流が盛んな文化都市である。また、秀吉が朝鮮出兵の際築いた肥前名護屋城跡、唐津焼に代表される焼き物、お茶の文化が今日まで伝えられるとともに、町人文化の結集である「唐津くんち」、呼子大綱引き、浜崎祇園など全国に誇れる祭りも深く根付いている。

農林水産業の特色

「呼子のイカ」やアジ、さばなどの豊富な天然魚介類やブランド牛の「佐賀牛」に代表される畜産物、上場地区で生産されるコシヒカリや棚田米、イチゴ、ハウスみかんなどの農産物は全国的にも有名である。

さらに域内各地の直売所には、毎日取れたて新鮮な野菜類が豊富に並べられている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	民間宿泊施設	公設の宿泊施設
軒数	120	4	3
最大宿泊可能人数	480	361	380
料金	4500 円～	6000 円～	1100 円～

おすすめ体験学習プログラム

渓流滝登り体験（自然･環境体験）
【期間】
7月上旬 ～ 9月下旬まで
【内容】
滝百選の観音の滝の下流から、安全な装備を付けチーム単位で川原を登る。川の源流の自然、生き物などを観察しながら、また急流、岩場などもチーム力で最終まで到達し、達成感を味わう。

ヨット中心のマリンスポーツ体験（スポーツ･レジャー体験）
【期間】
通年
【内容】
ヨット各種、クルーザー、カッター、カヌーなどを県ヨットハーバーにて体験する。海の自然を学び、ヨットなどの競技の良さを学び、また自然の怖さ、競技のチームワークの大切さを学ぶ。

シーカヤックでの島めぐり体験（スポーツ･レジャー体験）
【期間】
4月下旬 ～ 11月下旬まで
【内容】
指導員による基本操作のレクチャーを受け、玄界の穏やか湾の中を自然観察の話を聞きながら、島巡りを体験する。規律の大切さと海の自然環境が学べる。

魚の種別わけとさばき体験（漁業体験）
【期間】
4月下旬 ～ 11月下旬まで
【内容】
定置網から収穫した魚を漁港の荷揚げ場所にて、漁師様の指導により、魚の種類、味覚などを学びながら選別体験し、敷地の倉庫で、奥様方から魚のさばき体験を学ぶ。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	まるごと山体験	実施時期	4月上旬 ～ 11月下旬まで
ねらい	山村地区での生活を通して、地域に暮らす人々の生き様や自然環境の大切さを学ぶことで、自ら生きる力を育むとともに、学び考える力の育成を図る。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	出発・移動（バス）	―
	午後	到着・開校式（オリエンテーション）	村の紹介・産業について学ぶ、村内散策活動
	宿泊	ロフティーななやま「民間施設」	星空観察会
2日目	午前	自然観察体験	自然観察会（鳥や草花）、スケッチ会
	午後	まるごと唐津体験	唐津の農産物の流通、唐津の環境について知る
	宿泊	ロフティーななやま「民間施設」	蛍観察会
3日目	午前	クラフト体験	木工作業により手作りの楽しさを知る
	午後	渓流のぼり体験	渓流のぼりによってチームワーク作り、ミニゲームを行う。
	宿泊	ロフティーななやま「民間施設」	村の民話、民謡を聞く
4日目	午前	郷土料理作り体験	調理体験を通じて郷土の料理について知る
	午後	民泊農家での活動	自己紹介・農作業と体験を通じて農家の暮らしを知る
	宿泊	農林漁家民泊	民泊家庭との交流
5日目	午前	民泊農家での活動	民泊家庭での生活体験、民泊家庭での生活体験
	午後	閉校式・移動・解散	―

九州・沖縄
4

佐賀県伊万里市
伊万里グリーン・ツーリズム推進協議

―

問合せ先
窓口名：伊万里ネイチャーツーリズム推進協議会
住所：佐賀県伊万里市立花町 1355 番地 1
TEL：0955-23-2557　FAX：0955-23-2474
E-mail：nougyousinkou@city.imari.lg.jp

アクセス
最寄りの都市：佐賀市
集合場所：伊万里市役所
車の場合：80 分
鉄道の場合：90 分

受入概要

伊万里市の農業・農村・農林水産物への理解・愛着を深め、地産地消の推進と地域間の交流を図るために行っている「畑の中のレストラン」事業をはじめ、地域や個人でグリーンツーリズムに意欲的に取り組んでいる団体の窓口を一本化することで、対外的な広報や受け入れなど仕組みづくりの効率化を図るとともに、地域が一体となった農家民泊や、子ども農山漁村交流プロジェクトへの取り組みを進めている。協議会においては、農家民泊等の運営や企画・広報・連絡調整活動を行い、インストラクターの育成支援や学校・団体等の誘致まで、トータルコーディネートを行っている。

天候や季節に応じて様々なプログラムを用意しているため、時期を選ばず学校側の行事予定に合わせた日程を組むことができ、平成 20 年の農林水産祭において豊かな村づくり部門で日本農林漁業振興会会長賞を受賞した「川内野集落」をはじめ都市住民を対象にさまざまな体験イベントを実践している団体が数多くある。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

本地域は、佐賀県の西北部に位置し、東西約 25 キロメートル、南北約 21 キロメートルの広がりをみせ、面積２５４．９９平方キロメートルと、佐賀県の約 10.5%を占めている。福岡空港から車で約 80 分、佐賀空港からは約 90 分の距離にあり、東アジアにも至近距離にある。伊万里港においては韓国・釜山までわずか 200 キロメートルという地理的な優位性を生かし、コンテナ船定期航路が開設されている。気候は、年平均気温 15.6 度と温暖で、年平均約 2,000 ミリメートルの降水量があり、丘陵部を中心に西日本一の生産を誇る伊万里梨などが栽培されている。

海とともに生きてきた伊万里の舞台となっているのが東松浦半島と北松浦半島にはさまれた伊万里湾。この海には約４億年前に地球上に現れ、今もなおその姿を残し、生きた化石といわれる「カブトガニ」が生息している。現在は「カブトガニ」の産卵が確認できる場所は国内に数か所しかなく、中でも伊万里湾は日本最大級の繁殖地といわれている。また、市内の長浜干拓では、数年前から「マナヅル」の親子が飛来し、越冬する様子が見られるようになっており、伊万里の新しい冬の風物詩となっている。

歴史・文化的な特色

急峻な山の谷間にある大川内山は、江戸時代に鍋島藩の御用窯が築かれ、世界の至宝と呼ばれる「鍋島」が焼かれていた。当時は、陶技を外部に漏らさないようにするため、関所が設けられ、陶工たちは厳重な監視下に置かれていた。ひっそりと守り隠されてきた秘窯のムードが今なお感じられ、300 余年の伝統と技術を受け継いだ窯元が立ち並び「秘窯の里」として親しまれている。

農林水産業の特色

中山間地の自然条件を生かしたなどが中心で、西日本最大の産地を誇る「伊万里梨」や、選りすぐられたブランド牛の中から日本一に輝いた「伊万里牛」の産地。他にも「ブドウ」や「キュウリ」などのブランド化が図られ、高品質で安心・安全な農産物の生産がおこなわれている。最近では、国営農地開発事業による新規作物として「梅」が栽培されており、新たな「伊万里ブランド」として期待されている。

また、天然の良好伊万里湾では、「とらふぐ」や「車えび」の養殖が行われており、冬場は水揚げされたばかりの牡蠣や魚介類をその場で食べることができる。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	民間宿泊施設	公設の宿泊施設
軒数	120	4	3
最大宿泊可能人数	480	361	380
料金	4500 円～	6000 円～	1100 円～

おすすめ体験学習プログラム

農業体験（農業体験）
【期間】
通年
【内容】
黒米の田植え稲刈りをはじめ、花木、小葱やアスパラガスなどの施設野菜各種農作業を体験する。

漁業体験（漁業体験）
【期間】
通年
【内容】
ふぐや車えびの養殖場を見学し、漁業を支える養殖の重要性などについて学ぶ。

ツガニのかご漁、ハヤ釣り（食の体験）
【期間】
通年
【内容】
篭を仕掛ける「つがに漁」とハヤ釣りを通じて、自然の生態系及び環境を守る取組について学ぶ。

史跡案内（その他）
【期間】
通年
【内容】
秘窯の里「大川内山」をはじめ、市内に点在するさまざまな歴史的建造物や遺跡などを見学し、伊万里湾を中心として栄えてきた伊万里の歴史や文化などを学ぶ

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	「夏！川内野ランド」プラン	実施時期	７月上旬 ～ ９月中旬まで
ねらい	伊万里の農林漁家での生活を通して、その地域の特色ある自然や文化を学び民泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行う。様々な状況に応じた立場をわきまえながら自ら考え、判断して行動していける「生きる力やたくましさ」を培うとともに、自然の美しさに感動したり人に対する感謝の気持ち、人と人との繋がりを大事にできる心豊かな人間性を育む。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
１日目	午前	現地までの移動【バス】	―
	午後	開校式	・挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換 ・おすそ分け大作戦！（野菜の収穫体験、食材集め） ・共同での夕食調理体験
	宿泊	夢耕房たきの「公的宿泊施設」	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
２日目	午前	山ン寺遺跡へ出かけよう！	・インストラクターの指導による里山散策を行う。 ・松浦党の歴史について学ぶ。
	午後	ネイチャークラフト	・散策時に収集した材料を使いクラフト作り。 ・対面式:各農林漁家泊先
	宿泊	農林漁家民泊	地元に伝わる伝統や人々の暮らしなどを話し合う。
３日目	午前	田圃の除草作業	・稲作の解説と参加全児童で田んぼの草取り作業を行う。 ・田んぼ周辺の動植物の生態観察
	午後	川遊び・釣り・ツガニかご仕掛け	夕食の食材の調達、農林漁家との夕食づくり体験
	宿泊	農林漁家民泊	保護者宛の宿泊体験の感想を手紙にする。
４日目	午前	カブトムシ捕獲 ツガニ篭上げ	・農林漁家の方と一緒にカブトムシの捕獲 ・仕掛けた篭をあげツガニを捕り昼食時に食す。
	午後	カブトガニを見よう！	カブトガニの生態を観察する。古代生物であるカブトガニを通して歴史や環境についても考えてみよう。
	宿泊	農林漁家民泊	農林漁家泊のご家庭とお別れ会を兼ねた夕食
５日目	午前	片付けとお別れ会	・片付け・清掃活動班別に、農林漁家泊での学習の成果の取りまとめを行う。 ・児童による受入関係者に向けたお別れ会（演奏会）
	午後	学校まで移動	―

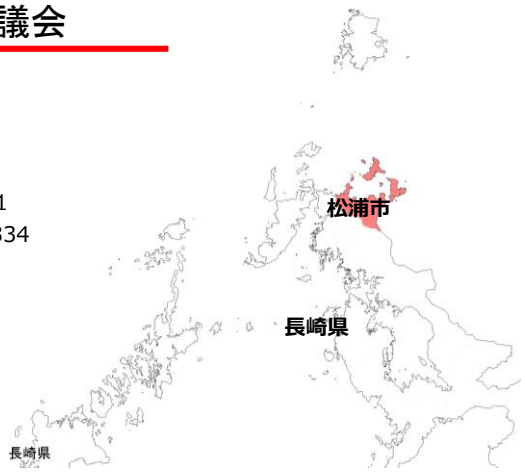
九州・沖縄
5

長崎県松浦市、平戸市、鹿町町、佐世保市 伊万里グリーン・ツーリズム推進協議会

http://www.honmono-taiken.jp

問合せ先
窓口名：一般社団法人まつうら党交流公社
住所：長崎県松浦市志佐町浦免 1808 番地 1
TEL：0956-27-9333　FAX：0956-27-9334
E-mail：kouryu-1ban@matsuurato.jp

アクセス
最寄りの都市：福岡市
集合場所：道の駅　松浦海のふるさと館
車の場合：130 分
鉄道の場合：―



受入概要

北松浦半島地域における体験交流型旅行の振興を図り、地域経済の発展及び地域振興並びに教育文化の向上に寄与することを目的として、平成２１年２月に発足（同年４月から事業開始）。公社では、小学校の農山漁村長期宿泊体験活動を含む体験型教育旅行のワンストップ窓口として、コーディネート業務全般を行うこととしている。

活動の理念として、松浦党の里のありのままの暮らしや自然の営みの中で、子どもたちをお客様ではなく家族の一員としてお迎えする。そこで、体験や民泊を通して、豊かな食文化や生活文化、農水産物の価値、家族の絆や親の愛・人の愛を伝える。特に、人とのふれあいを通してコミュニケーション能力を高め、モチベーションを高めて「力強く生きる力」を身につけてもらいたいと強く願っている。このため、子どもたちにとって安全でかつ教育効果の高い体験活動となるよう心を込めてお手伝いをする。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

活動の舞台は、長崎県北松浦半島とその周辺の島々からなる地域で、元寇を退けるなど様々な歴史の舞台で活躍した水軍「松浦党」発祥の地でもある。主な産業は、国内屈指の水産県「長崎」を代表する漁業と中山間地での昔ながらの素朴な農業。

「松浦党の里」は、海も山も川もある恵まれた環境の中で民泊と農林漁業を中心とした「ほんなもん（ほんもの）体験」が提供できるフィールド。「松浦党の里」には島や半島ならではの変化に富んだ自然や多様な生業が残っており、この土地の自然環境や生業に根ざす食文化・生活文化そのものを活かし、プログラム化したのが「松浦党の里ほんなもん体験」。90 種類を有する体験プログラムのうち、自然的資源を活用したものは、定置網漁・地引網漁・カゴ漁・たこ漁・延縄漁・船釣り・港釣りなどの漁業体験、田植え・稲刈り・じゃがいも栽培・酪農家のチーズ作り・森林間伐・和牛農家体験などの農林業体験の他、シーカヤック・筏作り・川釣りなどのアウトドア体験がある。

歴史・文化的な特色

文化的資源を活用した体験プログラムは、漁村や農村での生活文化を体験する民家ステイ体験（民泊）、伝統的食文化を体験する田舎料理作り・長崎ちゃんぽん作り・押し寿し作り・そば打ち・豆腐作り・よもぎもち作り・魚のおろし方・かまぼこ作り・さつま揚げ作りなどの味覚体験の他、歴史文化に触れる鷹島元寇史跡探訪、伝統・工芸などを学ぶつる工芸、わらぞうり作り・竹細工・昔玩具作り体験などがある。

農林水産業の特色

松浦市の水産業の概要：水産業は、天然の良港である伊万里湾を核とした松浦市における主要な産業であり、船びき網、ゴチ網等の漁船漁業、マダイ、ハマチ、トラフグ等の魚類養殖業が盛んに行われ、特にトラフグは、全国有数の生産量を誇り、生産拠点としての地位を確立している。公設市場である地方卸売市場松浦魚市場は、日本遠洋旋網漁業協同組合所属の大中型まき網漁業及び沿岸まき網漁業（アジ・サバ等）、イカ釣り漁業等の水揚げ基地であり、西日本有数の流通拠点となっている。

松浦市の農業の概要：松浦市の重点振興作物は、水稲・果樹（みかん、ぶどう）・施設野菜（メロン、いちご、アスパラガス）・露地野菜（ブロッコリー、そらまめ、スナップエンドウ）・葉タバコ・茶・花き花木・畜産（肉用牛）である。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	民間宿泊施設
軒数	533	10
最大宿泊可能人数	1700	300
料金	7350 円～	8400 円～

おすすめ体験学習プログラム

養殖場エサやり体験（漁業体験）
【期間】
通年
【内容】
養殖されている海水魚はブリ、タイ、フグ等。魚の飼育作業の一つの餌やりを体験し、魚の生態や獲る漁業から育てる漁業への転換について学ぶ。

カゴ漁（漁業体験）
【期間】
通年
【内容】
たくさんのカゴの中に餌を入れ海中に仕掛けて待つ漁法。海底の状態と生態を熟知しないと出来ない漁である。漁師さんと自然との知恵比べに立会うことができる。

押し寿し作り（食の体験）
【期間】
通年
【内容】
長崎県北部の郷土料理の押し寿しを作る。昔から地域や親戚の集まるお祝い事に欠かせない料理。地域や親戚の人が集まって作業を分担し、材料を持ち寄って他の田舎料理も一緒にみんなで作り、老若男女が歌や踊りと共に楽しく頂いた。みんなで作る楽しさと技術の伝承によって、質の高い共通の食文化が地域に深く浸透している。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	松浦党の里ほんなもん体験	実施時期	7月上旬 ～ 9月上旬まで 11月上旬 ～ 3月下旬まで
ねらい	児童が、北松浦半島地域の豊かな自然や農林漁業などの多様な生業を体験し、友達と協力して物事を成し遂げる喜びや達成感・充実感を得るとともに、農林漁家泊での家族的な異世代交流を通じて、地域に根ざす食文化や生活文化を学び、また、見ず知らずの人との信頼関係を構築する力（コミュニケーション能力）や健全で平和な心を育むことにより、自信や誇りを待ち、モチベーションを高めて「力強く生きようとする力」を身につけてもらうこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動 入村式・昼食・休憩	歓迎挨拶、学校・児童代表挨拶、滞在期間中の留意事項伝達、持参弁当、休憩
	午後	農林業体験 宿泊施設での歓迎式	じゃがいも栽培・酪農家のチーズ作り・みかん収穫・和牛農家体験などから選択
	宿泊	民間宿泊施設（民宿等）	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	漁業体験	養殖場エサやり体験・カゴ漁・船釣り・港釣り・刺網漁などから選択
	午後	昼食・休憩 自然・アウトドア体験	・地元で製造される手作り弁当、休憩 ・シーカヤック・筏作り・川釣りなどから選択
	宿泊	民間宿泊施設（民宿等）	・団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。 ・保護者宛に宿泊体験の感想文を書く。
3日目	午前	漁村での味覚体験（昼食）	食育、魚のおろし方・さつま揚げ作りなどから選択
	午後	漁業体験 対面	・養殖場エサやり体験・カゴ漁・船釣り・港釣りな・刺網漁どから選択 ・受入地区歓迎挨拶、学校・児童代表挨拶、留意事項伝達、農林漁家泊先の紹介・自己紹介
	宿泊	農林漁家民宿	農山漁村の生活文化の体験
4日目	午前	農村での味覚体験（昼食）	食育（食農教育）：長崎ちゃんぽん作り・押し寿し・そば打ち・よもぎもち作りなどから選択
	午後	農林業体験	じゃがいも栽培・酪農家のチーズ作り・みかん収穫・和牛農家体験などから選択
	宿泊	農林漁家民泊	農山漁村の生活文化の体験
5日目	午前	伝統・工芸体験	凧作り・わらぞうり作り・昔玩具作りなどから選択
	午後	離村式 現地までの移動	農林漁家泊先・インストラクターとのお別れ会

九州・沖縄
6

長崎県壱岐市
壱岐体験型観光受入協議会

http://www.iki-brand.jp

問合せ先
窓口名：壱岐体験型観光受入協議会
住所：長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触 683－2
一般社団法人 壱岐市観光連盟内
TEL：0920-47-3700　FAX：0920-47-5302
E-mail：ikiukeire@gmail.com

アクセス
最寄りの都市：福岡市
集合場所：到着港の広場
車の場合：―
鉄道の場合：70 分

受入概要

本地域における交流人口の拡大のため、人材及び地域資源を活用した体験型旅行の創造を図る事で交流人口の増加、地域振興に寄与する目的で協議会を立ち上げた。大切な未来の宝である子供たちの成長にとって、壱岐での出会い、ふれあい、体験体感の一つ一つが有意義で価値あるものにすることが出来るように壱岐市、関係団体、市民一体となって歓迎している。

家庭を離れ長期にわたって、共同生活をしながら様々な体験活動を経験する中で、常に民宿の人が同行して目的を達成させるために、安全第一で、ともに生活し喜びを分かち合い、我慢することを経験させながら、人と人とのつながりができる活動を目的としている。

農業・漁業体験に加え、歴史の上では大陸との中継地でもあった島ならではの歴史体験プログラムの提案を提供します。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

壱岐市は、福岡県と対馬の中間地点で玄界灘に面し、福岡県博多港から郷ノ浦港まで西北 76ｋｍ、佐賀県唐津東港から印通寺港まで北４２ｋｍの位置にある。南北約 17ｋｍ、東西約 15ｋｍのやや南北に長い亀状の島で、総面積は 138.45ｋ㎡、壱岐本島と 21 の属島からなる全国で 20 番目に大きな島である。

地形は一般的に丘陵性の玄武岩をなし、高度 100 メートルを超える山地が占める面積は極めてわずかである。分水嶺は西に偏り、谷江川は北西から南東に、幡鉾川は西から東に流れ、その流域には、本島最大の平野が発達している。海岸線は屈曲が多く、発達した海蝕岩がみられる北東部を除けば、大小の湾入があり、特に、西岸一帯は激しく、溺谷の原型を保っており、南東岸には、大小の砂浜が点在している。

歴史・文化的な特色

原の辻遺跡（国特別史跡）、カラカミ遺跡、神功皇后の馬蹄石、大塚山古墳、笹塚古墳、掛木古墳、鬼の窟古墳、双六古墳、百合畑古墳群、対馬塚古墳、鬼屋窟古墳、カジヤバ古墳、串山の遺跡群、平山古墳、雪連宅満の墳墓、万葉公園、国分寺跡、藤原理忠の墓、龍化の墓、浦海海岸の千人塚、平景隆の墓、高麗橋古戦場、唐神原古戦場 、新城古戦場、少貳資時の墓、少貳の千人塚、船匿城跡、長谷川家の碇石、千人堂の碇石、旧役場の碇石、大師堂の碇石、壱岐神社の碇石、隠れ穴、ムクリコクリ人形、亀丘城跡、波多隆の墓、重山塚、王子五郎の墓、生池城跡、勝本城跡、お伊勢様、へそ石と顎掛け石、朝鮮通信使迎接所跡、小松・作助の墓、百姓源三の墓、流人・小山弥兵衛の墓、長者の墓、河合曽良の終焉地、恵美須浦、鯨供養塔、鯨組納屋場跡、阿房塀、鯨石、海難者の慰霊塔、黒崎砲台跡、花雲亭、大韓民国人慰霊碑、春一番の塔

農林水産業の特色

壱岐市農業の概要：平成 16 年の壱岐市農業産出額は約 63 億円で、肉用牛、米、葉たばこなどを基幹作物とし、その他イチゴ、アスパラガス、メロン等を特産物としている。

壱岐市漁業の概要：壱岐島の周辺海域は対馬暖流分岐流と九州沿岸流が交錯する潮境が形成されているほか、天然礁が点在することから、好漁場となっている。壱岐の漁業は、小型船によるイカ、ブリ等の釣漁業を主体に営まれている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	民間宿泊施設	公的宿泊施設
軒数	15	19	2
最大宿泊可能人数	993	1280	155
料金	3150 円～	6300 円～	6300 円～

おすすめ体験学習プログラム

弥生の住居作りと発掘体験（ふるさと体験）
【期間】
４月上旬 ～ 11 月下旬まで
【内容】
教科書で学習する竪穴式住居・高床式建物の構造が理解できる事と集団で協力体制作りなどが体験できる。発掘は実際に弥生時代の土の中を掘りだす。

弥生時代の土器製作（自然･環境体験）
【期間】
通年
【内容】
弥生式土器の製作（土器づくり→天日干し→野焼→仕上げ）。土器の活用方法や種類についての話と古代から現代に至るまで網羅した生活全般について学ぶ。

磯遊び（自然･環境体験）
【期間】
４月下旬 ～ 10 月下旬まで
【内容】
岩場での生態観察は、箱メガネを利用して浅瀬の足場の安全な場所で海藻類の観察や、特別に許可をもらい、海草採りをしたりして、自然の恵みを島の人がどう活用しているかを体験する。

かご漁（漁業体験）
【期間】
通年
【内容】
①漁船に実際に乗り込みかごを船に揚げる　②陸に網を揚げる
③かごに入っている魚を取り出す・獲れた魚の説明　④獲れた魚を調理して食べる

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	～温故知新～　壱岐島体験	実施時期	通年
ねらい	田舎の人が仲間を大切にして生活をしているが、なぜ大切にするかを理解してもらえるような体験内容にしている。そしてなぜ自然を大切にして生活をしているかとか、食するまでの大切な工程を体験することで自分たちが何気なく食している物がいかに時間と愛情が注がれているかをやしなう。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
１日目	午前	入島式	・壱岐市役所より歓迎挨拶。各民宿との対面・これからの行動・体験等の説明。各民宿の車で宿へ入る。 ・宿での諸注意・着替え・体験場所への移動
	午後	塩づくり	海水を利用して塩作り体験を行い、出来上がった塩を利用して、アジの開きを作り、漬物作り等に利用する。
	宿泊	農業・漁業体験民宿	宿の人と今回の体験宿泊についての意見交換
２日目	午前	アジの開き作り・野菜収穫	アジの開きを作り、野菜を収穫する。
	午後	漬物作り・石臼粉引き体験	収穫した野菜で漬物をつくる。石臼での粉引き体験。
	宿泊	農業・漁業体験民宿	反省会・日記
３日目	午前	釣り体験	・岩場での自然観察 ・釣竿作りから釣るまでと釣れた魚を昼食で調理して食べる。
	午後	イカの一夜干し作り	・一人２匹の一夜干しを作り、帰りに土産物にする。 ・イカの墨を利用して習字を行う
	宿泊	農業・漁業体験民宿	反省会・日記
４日目	午前	加工体験(豆腐作り)	前日水につけていた大豆を利用して豆腐をつくり、豆腐を使った昼食をた
	午後	農業体験	作付体験、石臼で引いた粉を使い団子作り
	宿泊	農業・漁業体験民宿	４日間の体験で経験した事そして将来に向けての作文
５日目	午前	宿の片付け・離島式	出港地の広場で離島式、港での合唱発表
	午後	壱岐の島でお世話になった人との別れ	

九州・沖縄
7

長崎県南島原市
一般社団法人 南島原ひまわり観光協会

http://himawari-kankou.jp./

問合せ先
窓口名：南島原ひまわり観光協会
住所：長崎県南島原市口之津町丙 4252
TEL：0957-76-1800　FAX：0957-76-1801
E-mail：kankou@himawarinet.ne.jp

アクセス
最寄りの都市：長崎市
集合場所：有家総合運動公園駐車場
車の場合：120 分
鉄道の場合：180 分

受入概要

地域の自然と風土で育まれたかけがえのない資源を大切に守り活かす観光振興と物産振興を市民と行政の協働で推進し、地域の活性化に寄与することを目的に「一般社団法人 南島原ひまわり観光協会」を平成 20 年 10 月に発足。協会では南島原市において、小学校の農山漁村長期宿泊体験活動の受け入れを地域全体で行うために、小学校の農山漁村長期宿泊体験活動の受入のための必要な調整を地域の中で行うとともに、小学校等との受入に関わる営業や連絡・調整を行っている。

受け入れを行うインストラクターに対し各種研修会、視察研修、安全衛生講習会等を開催するなど人材育成を年間を通して行っている。また、農林漁家民宿施設は損害賠償責任保険にも加入しており、全施設を対象に受入前の加入状況確認を行っている。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

本市は、長崎県の南部、島原半島の南東部に位置し、北部は島原市、西部は雲仙市と接しており、有明海をはさんで熊本県天草地域に面している。地勢は、千メートルを超える雲仙山麓から南へ広がる肥沃で豊かな地下水を含む大地を有し、魚介類豊富な有明海及び橘湾に広く面する海岸線を持っている。気候は温暖で、適度な降雨量もあり、日照時間にも恵まれた自然環境のすばらしい地域である。

日本最初の国立公園である雲仙天草国立公園及び島原半島県立公園に指定されており、雄大な山々と美しい海を併せ持った風光明媚な地域である。平成の雲仙普賢岳噴火は有名であり、その地質的に見て貴重な地質遺産が平成 21 年、世界ジオパークに認定された。火山を中心とした地質遺産には、断層や地層、温泉や湧水といった自然の恵みが数多くあり、そこに住む人類の歴史、地球の偉大さを感じることができる。

歴史・文化的な特色

今から約４４０年前、ポルトガル船が来航し南蛮貿易が盛んに行われた地域である。同時に、西洋文化が華開いたところであり、当時の日本において国際交流の最先端地であった。また、「島原の乱」終焉の地である「原城跡」をはじめ「日野江城跡」「吉利支丹墓碑」など数多くの史跡が残されている。これらは全て国指定の史跡であり、世界文化遺産を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産にも含まれており、早期登録が期待されている。キリスト教の繁栄、宗教対立、そして弾圧へと流れた歴史の証人である。

農林水産業の特色

本市の農業は、温暖な気候、肥沃な農地を生かして水稲、ばれいしょ、葉たばこ等の栽培、いちご、トマト、アスパラガス等の施設園芸、酪農、肉用牛、ブロイラー等の畜産業など多様な農業が営まれ、農畜産物の生産額は 212 億円で長崎県全体の 16%を占めている。

本市の水産業は、農業と並び市の基幹産業のひとつとして各地域で様々な漁業が営まれ、タイ、アラカブ、イカ、タコなど多くの魚介類が水揚げされるとともに、車エビ、ワカメなどの養殖も行われている。

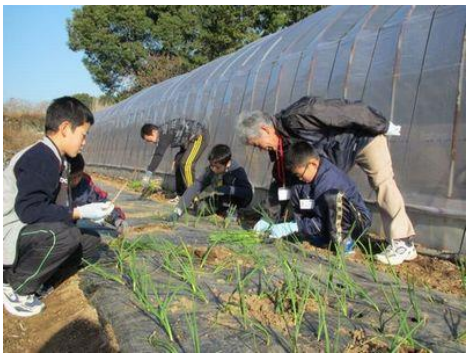
本市は約３５%が山林で、主な林産物としては菌床を利用したシイタケ栽培、えのきだけ等の生産が行われている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	民間宿泊施設	公的宿泊施設
軒数	112	15	1
最大宿泊可能人数	560	968	52
料金	7350 円～	3000 円～	6000 円～

おすすめ体験学習プログラム

アスパラガス収穫体験（農業体験）
【期間】
２月上旬 ～ ４月下旬まで、６月上旬 ～ 10 月中旬まで
【内容】
アスパラガスの収穫や通常の管理作業を体験し、収穫したアスパラガスを炭火で焼いて試食する。



イルカウォッチング体験（自然･環境体験）
【期間】
通年
【内容】
島原半島と天草の間の海域に約３００頭のバンドウイルカが生息している。その野生のイルカを遊漁船の上から鑑賞し、大自然を

養殖ハマチの餌やり体験（漁業体験）
【期間】
通年
【内容】
漁船で養殖場まで移動し、餌を投入する。養殖魚の捕食状況を観察することができる。さばき方を見学した後、新鮮なハマチを試

天体星空観察体験（自然･環境体験）
【期間】
通年
【内容】
満天の星が澄み切った夜空に広がり、大自然の中で都会ではあまりみることのできないたくさんの星座を観賞する。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	南島原体験交流プロジェクト１（４泊５日）	実施時期	４月中旬 ～ 12 月上旬まで
ねらい	子ども達を取り巻く環境は急激に変化しており、コミュニケーション能力や社会適応能力が低下している中、南島原市の豊かな自然環境で多くの人とふれあい、農漁村の生活文化や食文化、産業文化をとおして豊かな人間性や社会性、感性を身につけ、次代を担う子ども達の生きる力を育む。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
１日目	午前	入村式（地域情報の説明、意見交換会）	オリエンテーション（地域情報の説明・５日間のプログラム説明、意見交換）
	午後	・「島原の乱」最後の舞台を巡る ・食事づくり	・原城跡観光ガイドの会による案内で、３７０年前に起こった「島原の乱」について学ぶ。 ・班別に共同で夕食づくり
	宿泊	公的宿泊施設　エコ・パーク論所原	夕食・紙芝居の読み語り（ふるさと南島原）・星空観察
２日目	午前	高岩山登山（全児童参加）	インストラクターの指導の下、班別にチームを構成し互いに助け合い目標を達成する。
	午後	クラフト体験 農林漁家の生活体験	自然素材を活用した工作づくり、互いの紹介、家のルール説明敷地内の案内後、農林漁家の生活を体験
	宿泊	農業漁業民宿	宿泊先の家族と一緒に夕食づくり体験、団らん
３日目	午前	農林漁業体験（全児童参加）	南島原市の特産品を活用し、働くことのすばらしさや大変さ、収穫の喜びを体験
	午後	農林漁家の生活体験	・宿泊先の手伝いを通じて子どもたちの長所を引き出す。 ・夕食の食材調達、郷土料理づくり体験
	宿泊	農林漁家民宿	夕食（お別れ会）、２日間の農林漁家民宿の感想を語り合う。
４日目	午前	農林漁家とのお別れ イルカウオッチング	・朝食・後片付け・清掃・農林漁家へのお礼 ・自然とのふれあい・動植物の生態観察
	午後	宿泊体験活動のまとめ	・農林漁家での学習の成果を班別に行う ・最終日、お別れ会の準備 ・宿泊先の家族にお礼の手紙を書く ・保護者宛てに体験の感想を手紙に書く
	宿泊	公的宿泊施設　エコ・パーク論所原	団体生活を通して協調性を育み、規則正しい生活を身につける、天体星空観察
５日目	午前	離村式	朝食・後片付け・清掃活動、関係者とのお別れ会
	午後	学校へ移動	―

九州・沖縄
8

長崎県小値賀町
小値賀町長期宿泊体験協議会

http://nozakijima.jp

問合せ先
窓口名：NPO 法人　おぢかアイランドツーリズム協会
住所：長崎県小値賀町笛吹郷 2791-13 ターミナル内
TEL：0959-56-2646　FAX：0959-56-3530
E-mail：taka@nozakijima.jp

アクセス
最寄りの都市：佐世保市
集合場所：佐世保フェリーターミナル
車の場合：―
鉄道の場合：85 分

受入概要

平成 12 年度から、最近は毎年数千人規模で小学生の受け入れを行い、しかも 2 週間の自然体験と民泊体験を併せた宿泊体験活動を実践してきており、その実績によりノウハウとプログラムを蓄積している。小学生対象のプログラムおよび安全対策については、国内最大手旅行会社などからも非常に高い評価を受けている。

本町での自然体験の拠点である野崎島は、カヌーやトレッキングが体験できると共に、「無人島」でありながら百名以上の小学生が共同生活できる簡易宿泊施設も有している。また、野生鹿 500 頭、カラズバト（天然記念物）など珍しい動植物も生息し、全区域が西海国立公園に属しており、特徴ある海・山・鹿などのプログラムも魅力のひとつである。今回のプロジェクトでは、この「無人島」野崎島を丸ごと貸切で使用することが出来る。なお、その自然体験活動は環境省からも大きな注目を受けている。

当協議会に於いては、島での体験を不安や希望を抱きながらやってくる大勢の子ども達のためにも、「安全」「安心」「楽しい」をコンセプトに一生の思い出に残る体験活動ができるよう、約 100 人規模のインストラクターを整備し受入体制に万全を図っている。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

小値賀町は五島列島の北端に位置し、海底火山によって形成された大小 17 の島々からなる町です。佐世保市からフェリーで 3 時間、高速船で 1 時間 3 0 分離れているが、一島一町であることで、古くから一つの国として存在して、近隣町と比べてもその歴史、文化、自然そして人情は高いレベルにあります。大手旅行会社の旅行商品としても注目を集めている。地理的不便ではあるが、コンパクトな島の暮らし体験を実感することができ、小値賀ならではの受入プログラムが図られている。

小値賀の火山の特徴は、噴出した溶岩の粘質が低かったことで、そのため陸上にあっては低くて広い平坦地を、海岸には磯場を、海中には多数の火山性岩礁が散在する浅海域を形成した。地質学的にも大変貴重な小値賀島では、民泊体験での農業・漁業体験の他に、磯場観察や火山の赤土を利用した「おぢか焼き体験」などの自然活動プログラムも充実している。

歴史・文化的な特色

小値賀は遙か昔から五島列島の中心的存在として栄えた町で、国際交流も盛んな町であった。。その中心となっていたのが「捕鯨」。小値賀の漁師町の至るところに当時の捕鯨の名残が沢山残っている。また小値賀町東方 2 キロの野崎島には今年献堂 100 周年を迎える「旧野首教会」が建っており、その文化的・歴史的価値から現在ユネスコの世界文化遺産の暫定リストに登録されている。

農林水産業の特色

農業は、平成 1 5 年に県営畑地帯総合整備事業が完成。田畑の区画整理と水不足解消により、合理的で安定した農業経営が可能となった。主要作物は肉用牛、メロン、実エンドウ、トマト、落花生等で、出荷先の市場で高い評価を受けている。また、財団法人　小値賀町担い手公社を設立し、農業に関する様々な実習を行い農業の担い手の育成に努めている。

漁業は一本釣、刺網漁のほか、アワビ・サザエ・ウニなどの素潜り漁も盛んである。更に小値賀ブランドとして、タチウオを「白銀」、イサキを「値賀咲」とネーミングし商品価値を高めているほか、稚魚・稚貝の放流等による水産資源の保護・育成にも努めている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家以外の民宿	民間宿泊施設	公的宿泊施設
軒数	35	5	2	1
最大宿泊可能人数	160	80	50	100
料金	6300 円～	6000 円～6500 円	6500 円～~7500 円	1000 円～

おすすめ体験学習プログラム

苗植え・野菜収穫体験（農業体験）
【期間】
通年
【内容】
島の季節・風土にあわせた農作物の苗を植えたり、潮風を受けて育った旬の野菜を収穫してもらう。育つ時期と喜びを胸に、四季の味を楽しみながら体験できる。

トレッキング体験（自然･環境体験）
【期間】
通年
【内容】
野崎島の自然学塾村から謎の巨石「王位石」までのトレッキング。道中の眺望を楽しみながら、ネイチャーガイドが丁寧に案内。

刺し網体験（漁業体験）
【期間】
通年
【内容】
漁師さんが前日に仕掛けた刺し網を、朝方港ほ引き揚げ、漁師さんと一緒に魚をはずす体験をする。

磯体験（スポーツ･レジャー体験）
【期間】
通年
【内容】
小値賀特有の火山岩でできた海岸や、様々な生き物が生息する磯場を散策し、季節ごとの小値賀の海を体験する。

農業体験の様子

漁業体験の様子

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	島らいふ＆無人島自然体験	実施時期	4月1日 ～ 3月31日まで
ねらい	民泊のプログラムで、地域を知ってもらい、人と人とのつながりや自然と人とのつながりを体感する。また野崎島という非日常な場所での集団生活体験を通して、仲間のありがたさや自然の厳しさを体感する。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	小値賀到着、開校式	長崎 Or 佐世保よりチャーター船にて到着。民泊民家さんやインストラクターとの出会い式、オリエンテーションなど
	午後	本島めぐり、夕食作り体験	各民家さんと一緒に小値賀島本島を学び、そして畑での収穫から夕食の準備を一緒にする
	宿泊	本島内の漁師や農家での民泊	—
2日目	午前	小値賀島探検	小値賀本島のメインである漁師町のオリエンテーリングと歴史民俗資料館での学芸員による公開講座で島の歴史や文化を学ぶ
	午後	昼寝、魚釣り体験	夕食に向けて、おかずの魚を仕掛けから作り、釣りに出かける
	宿泊	本島内の漁師や農家での民泊	—
3日目	午前	漁業体験	早朝からたて網漁などの本格的な漁業体験
	午後	昼寝、農業体験	島内のハウスや畑での収穫などの体験
	宿泊	本島内の漁師や農家での民泊	—
4日目	午前	野崎島（無人島）へ移動、無人島探検トレッキングツアー	野崎島の宿泊施設オリエンテーション､世界遺産«暫定リスト）の教会や無人廃屋、白浜、火山跡などをめぐる
	午後	昼寝、野外炊飯	薪拾い、海水による米研ぎ、磯での貝収穫などから夕食づくり
	宿泊	野崎島自然学塾村（簡易宿泊施設）	—
5日目	午前	閉校式	一週間の取り組みのまとめ、感想会、自分の絵や言葉で一週間の収穫を表現する。民家さんやインストラクターとのお別れ式
	午後	小値賀出発	チャーター船で佐世保か長崎へ